第1回 禁煙推進学術ネットワーク学術会議
第1回 市民で地域禁煙を推進する会（公開講座）
合同学術集会

タバコフリー社会をめざす

2018年

10月27日 土

福岡大学病院 メディカルホール

〒814-0180　福岡市城南区七隈7-45-1　TEL：092-801-1011（代）

会長	**朔　啓二郎**	福岡大学医学部長
会頭	**藤原　久義**	一般社団法人 禁煙推進学術ネットワーク理事長 兵庫県参与・兵庫県立尼崎総合医療センター名誉院長 （ひょうご人生100年時代プロジェクト推進担当）

主催：一般社団法人 禁煙推進学術ネットワーク、福岡大学医学部、NPO法人 臨床応用科学
後援：厚生労働省、福岡大学エクステンションセンター、福岡大学基盤研究機関 心臓・血管研究所

第１回　禁煙推進学術ネットワーク学術会議および
第１回　市民で地域禁煙を推進する会（公開講座）　合同学術集会

福岡宣言：

タバコフリー社会をめざす

「禁煙しんしゃい！」

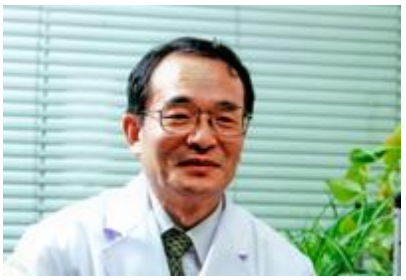
はじめに

喫煙は予防できる死亡原因の一つであり、多様な臓器の癌との因果関係が報告されています。虚血性脳卒中やくも膜下出血、冠動脈疾患、心房細動、糖尿病などの発症リスクが高くなることも周知の事実です。2016 年度、我国での喫煙率は 18.3%（男性 30.2%、女性 8.2%）とかなり低下してきましたが、先進諸国と比較するとまだまだ高い状況です。喫煙人口 1,900 万人、喫煙による超過死亡数が年間約 13 万人、受動喫煙によるそれは年間 15,000 人と推計されています。医学系・歯学系の 28 の参加学会からなる禁煙推進学術ネットワーク(TCR-Net)は、2014 年 7 月から現在に至るまで、日本医師会、日本医学会とともに東京都受動喫煙防止条例制定の要望書を東京都知事及び安部内閣総理大臣、関連 4 大臣に提出してきました。2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向けて屋内完全禁煙とする包括的受動喫煙防止法・条例制定の要望書を提出してきました。オリンピック・パラリンピック競技大会は東京だけの問題ではなく、日本全域がその競技場や練習場になるため、先進国としての見識が問われるのです。従って、本学術集会は、社会禁煙を推進する目的で開催しますが、これまでの研究成果を踏まえ喫煙の健康被害を様々な視点から学術的に検証します。また、生命の大切さを追求し、学術のみならず、市民の皆様の意見を拝聴する場としても、市民の皆様とともに考える「公開講座」も同時に企画しました。このような集会で、福岡宣言！タバコフリー社会をめざす*「禁煙しんしゃい！」*は私達の心の叫びです。

2018 年 10 月 27 日　　第１回学術集会会長　　福岡大学医学部長　朔　啓二郎

理事長からのメッセージ

― 第1回禁煙推進学術ネットワーク学術会議＆ 第1回市民で地域禁煙を推進する会 合同集会開催に期待！ ―



喫煙はニコチン依存症という病気で、保険診療も可能となっています。この病気は精神科領域から脳・心・血管疾患、呼吸器疾患、歯科疾患、さらに小児科領域、産婦人科領域、麻酔科領域等全身に膨大な健康被害をもたらします。生活習慣病のリスクファクターの中で、全死亡に占める割合は喫煙が一番高く、推計死者は約13万人／年、受動喫煙による死者は約15,000人／年です。損失コストはタバコ関連税収の約３倍も多くなっています。これらの被害は禁煙により防ぐことができるので、WHOは**「喫煙は予防可能な単一疾患としては最大の病気であり、禁煙は、今日最も確実に大量の重篤な疾病を劇的に減らし、国民の健康の維持と莫大な保険財政の節約に寄与する最大のもの」**と指摘しています。

しかし一般的には、今なお、「タバコは国が認めた合法的商品」「能動喫煙は趣味・嗜好」「受動喫煙はマナーの問題」「貴重な財源」と考える国民も多くいます。したがって我々医療者は**「喫煙は病気、喫煙者は患者」**として高血圧症等の生活習慣病と同じように扱い、また、屋内を全面禁煙化する法律の施行に向けて、正面から取り組むべきであると考えます。

禁煙推進学術ネットワークは「禁煙ガイドライン」（2005年）を作成した９学会とそのメンバーが中核となり2006年に発足しました。その後、参加学会が増え、現在、日本内科学会等28学会で構成され、平成29年2月、これまでの任意団体から、一般社団法人「禁煙推進学ネットワーク」へと発展しました。本ネットワークはこれら28学会が協力・連携して禁煙を推進するためのさまざまな情報・施策を、あくまで学術的根拠に基づき、社会に発信するとともに国・自治体・企業・団体等に要望し、さらに喫煙関連疾患の診療・研究や禁煙教育をサポートするユニークな組織です。 正会員の他にこの法人を支援していただける賛助会員も募集しています。

本年10月27日、本ネットワーク理事（日本内科学会代表）で、福岡大学医学部長 朔啓二郎会長のもとで**第一回禁煙推進学術ネットワーク学術会議、「タバコフリー社会を目指す」**を福岡で開催できることになったことは喜びに堪えません。脱タバコ社会が一日も早く実現することを念願しています。

2018年10月27日　一般社団法人 禁煙推進学術ネットワーク理事長　藤原 久義

～・～ 組織委員（氏名、所属機関、役職） ～・～

会長：　（朔　啓二郎、福岡大学医学部長、教授、
一般社団法人 日本内科学会の代表として）

会頭：　（藤原　久義、一般社団法人 禁煙推進学術ネットワーク理事長、
兵庫県参与・兵庫県立尼崎総合医療センター名誉院長）

プログラム委員：　（三浦　伸一郎、福岡大学医学部、教授）

プログラム委員：　（埴岡　隆、一般社団法人 日本口腔衛生学会の代表として）

プログラム委員：　（野上　昭彦、一般社団法人 日本循環器学会の代表として）

プログラム委員：　（加治　正行、公益社団法人 日本小児科学会の代表として）

プログラム委員：　（飯田　真美、一般社団法人 禁煙推進学術ネットワーク理事）

庶務担当：　（今泉　聡、福岡大学医学部、准教授）

事務担当：　（高木　淳子、福岡大学医学部心臓・血管内科学・秘書）

事務担当：　（占部　かおり、福岡大学病院循環器内科・秘書）

＜主催＞　一般社団法人 禁煙推進学術ネットワーク、
福岡大学医学部、NPO 法人 臨床応用科学

＜後援＞　厚生労働省、福岡大学エクステンションセンター、
福岡大学基盤研究機関「心臓・血管研究所」
福岡大学寄付研究連携「心血管疾患先進治療研究講座」
福岡大学寄付研究連携「心臓病未来医療開発講座」
福岡大学寄付研究連携「分子循環器病治療学講座」
福岡大学寄付研究連携「地域・救急医療学講座」

＜場所＞　福岡大学病院メディカルホール、多目的室

＜会費＞　3,000 円（会員のみ）

福大メディカルホール：地下鉄「福大前駅」と直結（徒歩1分）

交通のご案内

地下鉄：福岡空港駅 →（約5分）→ 博多駅 →（約5分）→ 天神駅 ⋯（乗り換え 徒歩約8分）⋯ 天神南駅 →（約16分）→ 福大前駅
（福岡空港駅～天神駅：空港線／天神南駅～福大前駅：七隈線）

バス：
- 博多バスターミナル1F④ → 西鉄バス 行先番号 114 → 福大病院 約40分
- 天神協和ビル前⑩ → 西鉄バス 行先番号 140 → 福大病院 約35分

タクシー等：
- 福岡空港（都市高速利用） → 福岡大学 約30分
- 博多駅 → 福岡大学 約40分
- 天神 → 福岡大学 約30分

詳細は、「福岡大学病院 交通アクセス」でご確認下さい。http://www.hop.fukuoka-u.ac.jp/access.php

私たちはいつもこのような学術研究を行っています

1）タバコ価格引き上げについて考える。

2）受動喫煙を減らす取り組みを考える。

3）新型タバコに対する様々な見解やエビデンスを考える。

新型タバコには大きく分けて電子タバコと非燃焼・加熱式タバコがある。紙巻きタバコに比較して健康に害が少ない（ハームリダクション）か、紙巻きタバコを禁煙する手段（助け）となりうるか、この 2 点が議論の中心になる。電子タバコの場合、ニコチンが含まれたものは薬機法（旧薬事法）による規制対象になり日本国内では販売ができないが、海外から通販で手に入る。非燃焼・加熱式タバコはタバコの葉を使用しているため、タバコ事業法によって守られており、前述の電子タバコとは異なり、パイプタバコに分類される。よって日本では後者の普及が懸念されているし、すでに 300 万人超が使用している報告もある。新型タバコの長期使用による健康被害の明確なエビデンスはまだないが、討論の中心となる。

４）禁煙治療分野における新しい試みと現状分析を考える。

第 1 回禁煙推進学術ネットワーク学術会議
第 1 回市民で地域禁煙を推進する会（公開講座）合同学術集会

後援・協賛団体一覧（50 音順）

開催するにあたり、下記の皆様よりご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

＜後援＞
厚生労働省
福岡大学エクステンションセンター
福岡大学基盤研究機関「心臓・血管研究所」
福岡大学寄付研究連携「心血管疾患先進治療研究講座」
福岡大学寄付研究連携「心臓病未来医療開発講座」
福岡大学寄付研究連携「分子循環器病治療学講座」
福岡大学寄付研究連携「地域・救急医療学講座」

＜協賛＞
グラクソ・スミスクライン株式会社
総合メディカル株式会社
ファイザー株式会社
福岡大学医学部同窓会
フクダ電子株式会社

「禁煙推進学術ネットワーク」とは？

禁煙推進学術ネットワークは，2005年に合同で「禁煙ガイドライン」を作成した9学会を母体とし，2006年，日本心臓財団からの助成により誕生しました。現在，下記に示す25を超える参加学会が個別に禁煙推進の活動を行いながら，学会間で喫煙・禁煙に関する情報交換・情報共有を行い，喫煙によって生ずる疾患と禁煙方法や禁煙治療薬などに関する研究，一般の方への喫煙の害・禁煙に関する知識の普及啓発，受動喫煙防止のための社会的な禁煙推進活動などを協同で行っています。

これは，喫煙の健康影響は種々の臓器・全身に及び，胎児・小児から成人まで年齢を問わないこと，また，社会的な問題も多く，禁煙推進活動は喫煙疾患関連学会全体がそれぞれの専門知識を駆使しつつ，協力・連携してはじめて効果的であるという共通の認識から生まれたものです。その基本的考え方は「喫煙は喫煙病（依存症＋喫煙関連疾患），喫煙者は患者」です。

2009年以後の主な活動の例を以下に示します。

「平成22年度厚生労働省税制改正要望への意見書」
「ニコチン依存症管理料の見直しに関する要望書」
「JR6社に対する新幹線・特急列車等の全面禁煙化，駅構内禁煙化要望」
「職場を建物内禁煙とする労働安全衛生法の改訂に関する要望書」
「関西私鉄に対する全面禁煙化要望」
「特定健康診査における禁煙の勧奨・支援のための制度化に関する要望書」
「国民の命と健康を守るための包括的たばこ対策の1つとしてたばこ税の大幅引き上げが必要 —18医科・歯科学会からの要望—」
「2020年オリンピック・パラリンピック成功に向けて，東京都受動喫煙防止条例制定の要望書」
—— その後（2016年12月），日本医師会，日本医学会，日本歯科医師会，日本歯科医学会と合同で，「2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向けて屋内完全禁煙とする包括的受動喫煙防止法・条例制定の要望書」を提出

毎月22日は「禁煙の日」。
スワンスワン（吸わん吸わん）で禁煙を！の活動は，2010年（平成22年）2月22日から行っています。

また，毎月，禁煙推進学術ネットワークの参加学会が禁煙の日を担当して，いろいろな企画を行っています。

詳細はウェブサイトをご覧ください。

一般社団法人 禁煙推進学術ネットワーク
http://tobacco-control-research-net.jp/

「禁煙の日」 オフィシャルブックレット 第6版　平成30年4月1日発行　発行 （一社）禁煙推進学術ネットワーク
本冊子の内容を発行者の許可なく，転載・複製することを禁じます。

学術会議　特別シンポジウム

理事会、定例会議、各種委員会

日時：　2018 年 10 月 27 日(土)　午前 9 時 00 分より
場所：　福岡大学病院多目的室　　(会員中心)

学術会議　特別シンポジウム（10 時 30 分より）

1) 10：30～　座長：藤原 久義先生、西脇 公俊先生
「タバコ関連企業からの資金による研究について」
演者：矢野 栄二先生（日本衛生学会を代表して）

2) 11：00～　座長：埴岡 隆先生、姜 英先生
「加熱式タバコへの対応」
演者：大和 浩先生（日本呼吸器学会を代表して）

3) 11：30～　座長：長尾 徹先生、高木 重人先生
「健康増進法の一部を改正する法律の概要について」
演者：平野 公康先生
（厚生労働省 健康局 健康課、たばこ対策専門官）

ランチョン

4) 12：00～　座長：野上 昭彦先生、川井 治之先生
「禁煙治療とニコチン依存症管理料の今後」
演者：中村 正和先生（日本公衆衛生学会を代表して）

学術集会　市民公開講座

合同学術集会（一般市民も参加）

日時：　2018 年 10 月 27 日(土)　午後 13 時 10 分より
場所：　福岡大学病院メディカルホール
参加予定人数：　400 名

「2020 東京オリンピック・パラリンピックにむけて、禁煙社会を実現しよう!!」

●セッション（13：10～）
座長：藤原 久義先生、福田 実先生、朔 啓二郎先生

1) わが国の受動喫煙に対する法的規制の問題点：　藤原 久義先生
2) 世界の喫煙・禁煙事情：　飯田 真美先生
3) 喫煙関連疾患: 歯科の立場から：　埴岡 隆先生
4) 小児科医の立場から：　加治 正行先生
5) 受動喫煙を減らす方略：　大和 浩先生
6) 新型タバコに対する様々な見解とエビデンス：　中村 正和先生
7) 「福岡宣言」：　三浦 伸一郎先生

●特別講演（14：30～）
座長：朔 啓二郎先生、原 眞純先生、三浦 雅彦先生
「J-リーガーの健康管理：サッカーと禁煙」
永島 昭浩氏（サッカー解説者・スポーツキャスター）

●総合討論（15：10～）
「永島さんと座長の先生方のディスカッション」

●閉会（15：30～16：00）　朔 啓二郎先生

禁煙活動を奨励する　　禁煙すわん君と踊る

禁煙学術ネットワークからのパンフレット、無料配布しています

毎月22日は禁煙の日

喫煙の害をもっと前面に！

外国でのタバコ箱には、こんな印刷があります

禁煙宣言
Non smoking declaration

福岡から地域禁煙を目指す

2018 Vol.1

Interview

福岡大学医学部長

朔 啓二郎氏
Keijiro Saku

profile

1978年福岡大学医学部医学科卒業。2000年4月福岡大学医学部心臓・血管内科学講座主任教授、13年12月から同医学部長。
米国内科学会上級会員(FACP)・
米国心臓病学会上級会員(FACC)
日本内科学会認定総合内科専門医
日本循環器学会認定循環器専門医
禁煙推進学術ネットワーク理事

※朔氏は本日放送予定のNHK「きょうの健康」に出演し、禁煙治療について解説

喫煙は多様な臓器のがんとの因果関係が報告されています。虚血性脳卒中、冠動脈疾患、心房細動、糖尿病などの発症リスクが高くなることも知られていて、"予防できる死亡要因の一つ"ともいわれています。さらに、脂質代謝に作用し動脈硬化をひきおこし、交感神経系を刺激し血圧の上昇および心拍数を増加させ、血液凝固系にも悪影響をもたらします。

喫煙はさまざまな病気の原因となります

依然高い日本の喫煙率

2016年度、わが国の喫煙率は18.3%(男性30.2%、女性8.2%)とかなり低下してきましたが、先進諸国と比較するとまだまだ高いのです。喫煙人口は約1900万人、喫煙による超過死亡数が年間約13万人、受動喫煙によるそれは年間約1万5千人と推計されています。

厚生労働省は、禁煙することを希望している喫煙者(約4割)が2022年までに禁煙することを想定して喫煙率を12%にする数値目標を設定しましたが、これにはいくつもの環境対策が必要です。

地域を禁煙にする必要性

さまざまな国で禁煙法が施行されました。国や地域を禁煙にすると、心筋梗塞の発症が平均で10~20%程度減少するのです。たばこの煙は有害で、受動喫煙がクローズアップされています。アメリカ心臓協会(AHA)の報告では、たばこの煙の低曝露(ばくろ)で1.54倍、中等度曝露で1.60倍、高濃度曝露でまだ1.93倍、曝露依存性に心血管疾患の危険度が増すのですが、逆に考えると、受動喫煙に安全域値はありません。

最近では、1日1本の喫煙でも心血管リスクが大であると報告されています。シンガポールでは1970年代から、アーケード、病院など公共の屋内施設は禁煙になっています。ニュージーランドでは刑務所も禁煙、オーストラリアでは、たとえ自家用車であっても子どもを乗せた場合、喫煙ができません。

屋内の完全禁煙に向けて

世界保健機関(WHO)と国際オリンピック委員会(IOC)は、たばこのない大会を実現することで合意しています。IOCは選手のスポンサーにたばこ会社がなることを禁止しています。08年の北京大会では「たばこの煙のない北京プロジェクト」が実施され、12年のロンドン大会では、会場は全面禁煙になり、たばこの販売も禁止されました。ロシアの冬期ソチ大会では10年に「たばこのないソチ憲章」を制定し、ソチ市内および全大会施設において「禁煙」の表示を行いました。20年東京大会に向けて、医学系、歯学系の26の参加学会からなる禁煙推進学術ネットワーク(TCRINet)は、東京都受動喫煙防止条例制定の要望書を毎年、東京都知事に提出しています。また、安倍内閣総理大臣らに、20年の東京大会の成功に向けて屋内完全禁煙とする包括的受動喫煙防止法、条例制定の要望書を提出しました。

受動喫煙の規制に面積基準による小規模店舗の例外や喫煙室の設備等の分煙は認めるべきでないのです。今回の大会は東京だけの問題ではありません。今こそ、地域から、福岡から禁煙推進を加速すべき時と考えます。

第1回 禁煙推進学術ネットワーク学術会議および
第1回 市民で地域禁煙を推進する会(公開講座)

日程 2018年10月27日(土) 12:30より
場所 福大メディカルホール 福岡市城南区七隈7丁目45-1
申込方法 【福岡大学医学部心臓・血管内科学】下記にファクスかハガキでお申し込みください。住所、氏名、年齢、性別、参加人数を明記ください。参加カードをお送りします。
締め切り 定員になり次第締め切りとさせていただきます。

主催:福岡大学医学部、禁煙推進学術ネットワーク　共催:福岡大学エクステンションセンター

企画・制作/西日本新聞社広告局

福岡大学医学部 心臓・血管内科学　〒814-0180 福岡市城南区七隈7丁目45番1号　TEL:092-801-1011(代)　FAX:092-865-2692

2018年5月31日　西日本新聞掲載

禁煙宣言
Non smoking declaration

福岡から地域禁煙を目指す

2018 Vol.2

Interview

福岡大学医学部長

朔 啓二郎氏
Keijiro Saku

profile

1978年福岡大学医学部医学科卒業。2000年4月福岡大学医学部心臓・血管内科学講座主任教授、13年12月から同医学部長。
米国内科学会上級会員(FACP)・
米国心臓病学会上級会員(FACC)
日本内科学会認定総合内科専門医
日本循環器学会認定循環器専門医
禁煙推進学術ネットワーク理事

新型たばこは、安全ですか?

Interview

福岡歯科大学口腔保健学講座教授

埴岡 隆氏
Takashi Hanioka

profile

1981年大阪大学歯学部卒業
日本口腔衛生学会認定口腔保健指導医・専門医、日本公衆衛生学会認定専門医、禁煙推進学術ネットワーク監事

朔:福岡歯科大学の埴岡教授にご意見を伺います。以前口の中で使う無煙タバコが発売され、今は新型タバコが流行しています。新型タバコには大きく分けて電子タバコと、非燃焼・加熱式タバコがありますが、どのような違いがあるのですか?

埴岡:電子タバコは、専用カートリッジにニコチンが含まれるものと、含まれないものがありますが、カートリッジに含まれる液体成分を熱して霧状(エアロゾル)化し、その微粒子を吸引します。ニコチンは医薬品ですので、日本ではニコチンが含まれた電子たばこは薬機法(旧薬事法)による規制対象になります。つまり、ニコチン含有カートリッジを使用する場合は、医療機器としての扱いになるため、勝手に販売ができません。しかし、海外から通販で手に入れることはできます。一方、非燃焼・加熱式タバコは、無煙タバコのようにタバコの葉を使用しているため、タバコ事業法によって守られており、電子タバコとは異なりパイプタバコに分類され国内で販売されています。燃焼させずに加熱するたばこで、温度が330~350℃(普通の紙巻タバコは684~800℃)ですので、燃焼までいきません。一般に、無煙、無炎、低臭と宣伝されてますが、熱分解によって様々な有害物質の発生が推測されます。呼気に人体に有害なアセナフテンが検出されたり、ニコチンに関しては通常の紙巻タバコの煙の84%を含むとの報告もあります。

朔:紙巻きタバコに比較して健康に害が少ないタバコとして取り扱うか(ハームリダクション)、紙巻きタバコをやめる手段(助け)となりうるか、この2点が議論の中心になっていますが、一般にどのように考えればいいのですか?

埴岡:新型タバコの長期使用による健康被害の明確なエビデンスはまだありませんが、間接的データから紙巻きタバコと同様にとらえるのが適切と考えます。禁煙表示のあるレストランや職場でも、電子タバコは許されることもあるようです。電子タバコの規制は公衆衛生学的には良いことですが、喫煙者対応として、タバコを完全に止められない患者さんを前にした時の思慮あるツール(手段)になりうる可能性もあります。一方、非燃焼・加熱式タバコの場合、吐く息から発生する有害物質は受動喫煙ほう助に働くとの報告があります。

朔:新型タバコを吸引する行為そのものが、若年者を喫煙へ向かわせるとか、紙巻タバコと両方使用(デュアルユース)する可能性が高くなるようです。米国科学アカデミーは、800もの査読付きジャーナルを分析し、2018年1月に包括的レポートを提出しました。それによると、電子タバコは紙巻きタバコより明らかに害が少ないこと、紙巻きタバコを喫煙している人の禁煙には役立つ可能性があるとの報告がありますが、さらなる研究が必要です。一方、非燃焼・加熱式タバコは、タバコ事業法によって守られているため、日本ではかなりの勢いで流行しています。有害性物質がかなり削減されているとの報告もありますが、長期の安全性は不明です。前回、特集したように、喫煙・タバコの煙に安全域値はありません。最近の呼気ガス分析からも、一般的には紙巻タバコ同様に捉えた方がいいでしょう。

第1回 禁煙推進学術ネットワーク学術会議および
第1回 市民で地域禁煙を推進する会(公開講座)

日程 2018年10月27日(土) 13:00より
場所 福大メディカルホール 福岡市城南区七隈7丁目45-1
申込方法 【福岡大学医学部心臓・血管内科学】下記にファクスかハガキでお申し込みください。住所、氏名、年齢、性別、参加人数を明記ください。参加カードをお送りします。
締め切り 定員になり次第締め切りとさせていただきます。

主催:福岡大学医学部、禁煙推進学術ネットワーク　共催:福岡大学エクステンションセンター

企画・制作/西日本新聞社広告局

福岡大学医学部 心臓・血管内科学　〒814-0180 福岡市城南区七隈7丁目45番1号　TEL:092-801-1011(代)　FAX:092-865-2692

2018年6月28日　西日本新聞掲載

禁煙宣言
Non smoking declaration

福岡から地域禁煙を目指す

2018 Vol.3

Interview

福岡大学医学部長

朔 啓二郎氏
Keijiro Saku

profile

1978年福岡大学医学部医学科卒業。2000年4月福岡大学医学部心臓・血管内科学講座主任教授、13年12月から同医学部長。
米国内科学会上級会員(FACP)・
米国心臓病学会上級会員(FACC)
日本内科学会認定総合内科専門医
日本循環器学会認定循環器専門医
禁煙推進学術ネットワーク理事

地域を禁煙にすると、心臓病が防げますか？

Interview

福岡大学医学部
心臓・血管内科学主任教授

三浦 伸一郎氏
Shinichiro Miura

profile

日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、日本高血圧学会認定専門医、日本動脈硬化学会認定専門医、日本再生医療学会認定医、日本心臓リハビリテーション学会認定医

朔　福岡大学医学部の三浦伸一郎教授（心臓・血管内科学主任教授）に、お話を伺います。タバコの煙がなくなることをタバコフリー社会と言いますが、地域をタバコフリーにしたら、どのような効果があるのでしょうか？

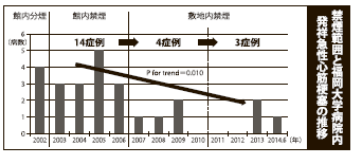
三浦　スコットランドでは禁煙法が成立し、居酒屋やパブ、レストランが禁煙になりました。すると、1年後には約17％心筋梗塞の発症が減少した報告があります。これは、禁煙の社会実験ですが、最近いくつもの報告がありますが、全体的に10～20％程度、心筋梗塞などの心・血管疾患が減少します。それも、かなり短期間で効果がでてきます。当然、禁煙にする範囲が広いほど、禁煙の規則が厳しいほど結果は良いと考えます。

朔　福岡大学病院では、2002年から院内分煙、2003年より病院内全館禁煙を実施し、2006年4月より病院・医学部敷地内禁煙についての方針を発表、同年5月より敷地内禁煙準備委員会を発足させました。ワークショップ、禁煙シンポジウム、入院患者の喫煙実態調査、禁煙外来を発足し、全職員を対象とした喫煙状況の把握、喫煙者への個別指導、禁煙教室・禁煙外来などを実施しました。医学生・病院職員に「禁煙宣言書」の提出、「禁煙パトロール隊」を発足させ、2007年より敷地内全面禁煙を達成しましたね。ちなみに初代禁煙パトロール隊長は私です。

三浦　敷地内禁煙にも様々な手続きが必要ですね。敷地内禁煙を行った後①敷地に隣接する駅の前に吸い殻がおちている、②近くのコンビニエンスストアに患者さんが点滴をぶら下げタバコを買いに行き喫煙する、③敷地の裏の駐車場や住宅の近くで医師がたばこを吸っていたとの投書がありましたが、おおむね敷地内禁煙は達成されました。このような取り組みの結果、福岡大学病院の院内発症心筋梗塞患者数が激減したことを論文発表しました。限られた範囲での禁煙活動であっても、タバコフリーが心筋梗塞を減少させた明確なエビデンスでした。身近なエリアからの禁煙推進の重要性がわかります。

三浦　大学入学後に喫煙をはじめる人が多いですね。福岡大学医学部の1年生に対して実施したあなたはたばこを吸いますか？というアンケートでは、1年生はほとんど喫煙しない（非喫煙の男子学生91.3％、女子97％）しかし、男子学生は、他学部より医学部学生（非喫煙88.4％）の方が、喫煙率が高かったですね。

朔　医学部は受験浪人して入学してくるからと思います。2015年度以降の医学部受験生パンフレットの表紙に「医学部生は非喫煙！」と記載してあります。あくまで呼びかけですが、医学部・病院敷地内禁煙運動とともに、医学部・病院敷地、医学生の愛好会部室での吸い殻は著減しました。医学生は将来医師として、患者さんに禁煙を指導する立場にあり、医学生が非喫煙であることは、医師になる必須条件の一つです。



禁煙範囲と福岡大学病院内我が急性心筋梗塞の推移

第1回 禁煙推進学術ネットワーク学術会議および第1回 市民で地域禁煙を推進する会（公開講座）

- 日程　2018年10月27日（土）13:00より
- 場所　福大メディカルホール　福岡市城南区七隈7丁目45-1
- 申込方法　【福岡大学医学部心臓・血管内科学】下記にファクスかハガキでお申し込みください。住所、氏名、年齢、性別、参加人数を明記ください。参加カードをお送りします。
- 締め切り　定員になり次第締め切りとさせていただきます。

主催：福岡大学医学部、禁煙推進学術ネットワーク　共催：福岡大学エクステンションセンター

企画・制作／西日本新聞広告社

福岡大学医学部 心臓・血管内科学　〒814-0180 福岡市城南区七隈7丁目45番1号　TEL：092-801-1011（代）　FAX：092-865-2692

2018年8月26日　西日本新聞掲載

禁煙宣言
Non smoking declaration

福岡から地域禁煙を目指す

2018 Vol.4

第1回 禁煙推進学術ネットワーク学術会議
第1回 市民で地域禁煙を推進する会（公開講座）
合同学術集会

毎月22 禁煙の日

会長：朔 啓二郎（福岡大学医学部長）

- 日時　2018年10月27日（土）13:00～
- 会場　福岡大学病院メディカルホール　福岡市城南区七隈7-45-1
- 定員　先着300名　受講無料
- 申込方法　先着順で受付けます。FAXまたはハガキでお申し込みください。住所・氏名・参加人数を明記ください。
  福岡大学医学部 心臓・血管内科学
  〒814-0180 福岡市城南区七隈七丁目45-1
  TEL.092-801-1011㈹ FAX.092-865-2692
  ご提供いただきました個人情報は、本学個人情報保護規定により適切かつ厳重に管理いたします。

◆特別講演

J-リーガーの健康管理：
サッカーと禁煙

講師
永島 昭浩 氏
サッカー解説者
スポーツキャスター

サッカー好き集まれ！

◆シンポジウム

2020東京オリンピック・パラリンピックにむけて、禁煙社会を実現しよう!!

1）禁煙法と禁煙条例
2）世界の喫煙・禁煙事情
3）喫煙関連疾患：歯科の立場から
4）小児科医の立場から
5）受動喫煙を減らす方略
6）新型タバコに対する様々な見解とエビデンス
7）「福岡宣言」

会長：朔 啓二郎 福岡大学医学部長
会頭：藤原 久義 兵庫県立尼崎総合医療センター 名誉院長 兵庫県参与（ひょうご人生100年時代プロジェクト推進担当）

主催：一般社団法人禁煙推進学術ネットワーク、福岡大学医学部、NPO法人臨床応用科学　共催：福岡大学エクステンションセンター

福岡宣言：タバコフリー社会をめざす「禁煙しんしゃい!」

喫煙は予防可能な、単一で最大の「病気」です。
私たちは、子供や若者に対して、喫煙被害や禁煙の意味や知識の普及、社会・環境の在り方、禁煙治療の啓発など、力強い目標を掲げています。
タバコフリー社会をめざして、「禁煙しんしゃい！」運動を、2020年オリンピック・パラリンピック開催に向かって邁進します。
禁煙推進学術ネットワークは、タバコフリー社会の実現に向けた活動を継続していくことを宣言します。

2018年10月27日 禁煙推進学術ネットワーク加盟団体

禁煙推進学術ネットワーク

28もの参加学会が個別に禁煙推進の活動を行いながら、学会間で喫煙・禁煙に関する情報交換・情報共有を行い、喫煙によって生ずる疾患と禁煙方法や禁煙治療薬などに関する研究や、一般の方への喫煙の害・禁煙に関する知識の普及啓発、受動喫煙防止のための社会的な禁煙推進活動などを協同して行っています。

お問い合わせ 福岡大学医学部 心臓・血管内科学　〒814-0180 福岡市城南区七隈7丁目45番1号　TEL：092-801-1011（代）　FAX：092-865-2692

2018年9月30日　西日本新聞掲載

第1回　禁煙推進学術ネットワーク学術会議および
第1回　市民で地域禁煙を推進する会（公開講座）　合同学術集会

2020 東京オリンピック・パラリンピックにむけて、禁煙社会を実現しよう !!

会期：平成30年10月27日（土）時間：13:10～

場所：福岡大学病院メディカルホール

会長：　朔　啓二郎　福岡大学医学部長

会頭：　藤原　久義　一般社団法人 禁煙推進学術ネットワーク理事長
兵庫県参与・兵庫県立尼崎総合医療センター名誉院長

シンポジウム

1）受動喫煙の法的規制の問題点
2）世界の喫煙・禁煙事情
3）喫煙関連疾患: 歯科の立場から
4）小児科医の立場から
5）受動喫煙を減らす方略
6）新型タバコに対する様々な見解とエビデンス
7）「福岡宣言」

総合討論

特別講演

「J-リーガーの健康管理：
サッカーと禁煙」

サッカー解説者・スポーツキャスター

永島　昭浩 氏

禁煙推進学術ネットワーク加盟団体

主催：一般社団法人 禁煙推進学術ネットワーク、福岡大学医学部、NPO法人 臨床応用科学
後援：福岡大学エクステンションセンター、福岡大学基盤研究機関心臓・血管研究所